

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」綱島校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	パーティションで区切る。一度に利用する人数の調整。	法令を遵守したスペースを確保していますが、支援内容に応じて区切るスペースを変更し実施しています。
	②	職員の配置数は適切である	4	0	加配指導員の配置を行っています。	法令で必要とされる配置数に加え、指導員または、保育士を1名以上配置(常勤換算による算定)しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1	教室内の段差はなく、バリアフリー化している。角をクッション材で保護しています。	2階教室のため、制限がでてしまうのが現状ですが、教室内は個別療育を行う上で必要な場所の確保やの安全面への配慮・必要な掲示物の配置を行っています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	1	毎日の清掃・消毒を実施しています。	感染症流行時のうがい手洗い・アルコール消毒の慣行、定期的な換気を行っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	0	日々の振り返りのほか、月次で会議のほかに改善活動報告を実施している。	月次で職員参加の改善活動会議を実施を継続するほか、活動報告への取り組みへの評価を頂いています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	定期的な事業所アンケートの実施を行っています。	保護者様へ満足度調査アンケートを実施し、業務改善につなげています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	定期的な実施と公表を実施しています。	当社HPにて公開・事業所内にて掲示をしています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	0	社内財団法人の発達支援研究所の巡回研修にて評価。他に、外部講師、巡回研修を定期的実施頂いている。	利用者・社内のほか、外部評価として定期的（今年度2回の実施）に巡回研修を実施しています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	発達支援研究所の定例研修の他、外部研修にも積極的に参加し、毎月の内部研修に活かし実施している。	入社時は初任者研修の実施、その後毎月の定例研修を実施。また、外部研修にも積極的に参加し、資質向上を目指しています。
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	0	統一したアセスメントシートを利用しています。	計画期間ごとにアセスメントを実施し、個別支援計画の作成をしています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	統一したアセスメントシートを利用しています。	計画期間ごとにアセスメントを実施し、個別支援計画の作成をしています。

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	1	児童に必要な支援を選択し、設定をしています。	アセスメントに基づき、個別支援計画を作成し、少なくとも6か月毎にモニタリングを実施して、必要な支援内容の選択を行い、具体的な内容の設定をしています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	支援計画にそった支援について、検討の場を設けています。	支援記録を作成し、共有することで次の支援につなげています。また、児童発達支援管理責任者を含め、直接支援指導員とのMTGを行っています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1	当日の支援担当の指導員のみではなく、相談・検討する場を設けている。	児童の事例を共有・議論するケース検討会を開催しています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	児童一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせ効果的に楽しく学べる指導を追求します。	次の学びになる成功体験を重視し、児童が自発的に適切な行動をとれるよう、学びやすい指導環境をつくります。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	0	個別支援・小集団支援を適宜実施しています。	アセスメントを基に、優先順位をつけて長期目標・短期目標を設定した個別支援計画を策定しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	2	業務に合わせ、ミーティングの実施をしています。	業務によってミーティングが実施できないこともあり、職員間での情報共有のツールを利用し確認等を行っています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1	業務に合わせ、ミーティングの実施をしています。	業務によってミーティングが実施できないこともあり、職員間での情報共有のツールを利用し確認等を行っています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	毎回の支援の記録をとり、共有しています。	毎回の支援の記録をとり、見直しを行うことで児童の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、支援内容や方法を更新しています。
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	事業所内・保護者を中心に実施しています。	事業者内・保護者とともにモニタリングを行い、計画についてのPDCAに沿って判断・検討を行っています。
関係機関や保護者との	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	事業所内サービス担当者会議ではミーティングや打ち合わせを利用し実施しています。	利用児童の相談支援事業所との連携は支援の見学やケース会議の実施に参加をしています。会議の内容を基に事業所内でのサービス担当者会議を行っています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	保護者の要望に応じて、関係機関連携の実施をしています。	保育園・幼稚園への関係機関連携訪問は保護者の要望を基に実施している。支援の様子や集団生活の中での課題抽出を行い、取り組み方やアプローチ方法等の共通認識を持ち、関わりをもてるよう支援を行っています。

連携関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	2	利用中に医療ケアが必要となることは現状ありません。	導尿の医療ケアが必要な児童の利用はあるが事業所内での個別療育に影響はなく、対応や状況等を保護者様に共有して頂きながら支援を行っています。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	2	利用中に医療ケアが必要となることは現状ありません。	保護者様との連携を取り合いながら支援を行っています。協力医療機関との連絡体制は随時整えています。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	環境の変化や入園に向けて保護者様への丁寧な傾聴時間を設けています。	入園後、保護者や幼稚園・保育園の意向を踏まえ、情報共有や相互理解を図り支援を実施しています。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	環境の変化や就学に向けて保護者様への丁寧な傾聴時間を設けています。	就学までの取り組みとして、保護者の意向を踏まえ、就学後に連携訪問の機会を設けるなど打診を行い、支援を行っています。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	研修に積極的に参加しています。	専門機関が主催の研修会や児童が通っている通園との連携の際に助言や支援についてアドバイスをいただいています。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	1	児童同士の交流は現状実施していないが、連携訪問の際の情報交換や必要に応じて紹介をして頂いている。	個別療育を基本をしているため、児童同士の交流の場は現状、設けておりません。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	0	児童発達支援管理責任者を中心に代表参加をしています。	毎月の児童部会に参加するとともに、自立支援協議会主催の行事や研修会にも積極的に参加しています。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	毎回の支援後にフィードバック時間を設けています。	支援後のフィードバック時間にご意見を頂戴し、共通理解をもった支援を実施しています。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	0	ご希望に応じて支援を実施しています。	支援後のフィードバック時間を利用して家庭での対応方法についてアドバイスをし、事業所内相談等にてアドバイスを実施しています。
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時・面談時に児童発達支援管理責任者を中心に実施しています。	運営規定・利用者負担等について、契約時に丁寧に説明するとともに事業所内に重要書類の掲示をしています。
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	個別支援計画を基にモニタリング表に説明に対して承諾のサインを頂いています。	アセスメントを基に優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した個別支援計画を策定しています。ご意見やご要望である主訴の確認をしながら計画に同意を得ています。
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	支援後のフィードバック時間を利用し、相談に対しアドバイスをしています。	児童発達支援管理責任者を中心にご希望に応じて、相談。助言の時間を設けています。また、適宜、事業所内相談のご提案をさせて頂いています。

	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	0	ママカフェの開催を企画し実施しています。	ご要望に応じて保護者同士の連携を支援。6月・1月に横浜地区として他校舎と共同でママカフェの実施、9月に校舎独自での実施をしました。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	ご要望に応じて、速やかに対応を行っています。	事業所内に意見箱を設置、受付者・解決責任者を選任する等、専用の窓口を置き、体制を整えています。頂いたご意見は社内フローを定め、迅速かつ適切に対応していきます。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	毎月15日を目処につなしま通信(会報)の発行をしています。	会社HPにて事業所内ブログの発信やつなしま通信の発行を通じて、活動内容の発信や教室内にイベントの案内等の掲示を行っています。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	専用鍵付きキャビネットに開閉時の児童名が見えないよう工夫し保管しています。個人情報の取り扱いに関するマニュアルの策定をしました。	新たにマニュアルの策定をすると共に、個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットにて保管をしています。また、個人情報にアクセスできる端末にはパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	視覚的情報等の活用を行っています。	児童・保護者様の状況に応じて、ICTやそのほか視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等を実施しております。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	見学対応は教室開放時間を設けています。	支援の様子を公開したり、教室開放の時間を設けています。また、随時HPブログで支援の様子を報告しています。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	教室内の掲示や閲覧書類として周知しています。	訓練の実施について、保護者理解が得られるよう、周知の仕方の工夫。マニュアルの策定、適宜研修の実施をしています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	月1回の避難訓練の実施。個別療育だからこそ全員参加が難しく課題としてきましたが、今年度は全員の参加を目標に取り組んでいます。	月1回の避難訓練の実施と地域の避難訓練に参加をしています。保護者理解を得られるよう、同席を頂き、できる限りの参加をお願いしています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	変更があった場合等、共有頂いています。	面談時に児童の様子(服薬の有無)や発作の有無等共有頂き、随時状況を確認しています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	2	すべての児童に対しアレルギーの有無を確認しています。	アレルギーの有無の確認とともに、支援時に該当物質との接触が起こらないよう留意しています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	その都度作成・共有を行っています。児童に対するヒヤリハットだけではなく、場所や時間による気づきも共有しています。	日次・月次MTGにて再確認を行うとともに事例報告時には報告書を作成・保管した上で職員間での共有を行っています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	マニュアルの策定をし、横浜市の虐待防止研修に参加すると	マニュアルを策定、外部研修に参加し、内部研修を適宜実施。さらに社内での虐待防止委員会を発足し、

				ともに内部研修を適宜実施しています。	適切な対応の検討と事例検討を行っています。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	マニュアルを策定し、研修を適宜実施しています。	契約時に丁寧に説明を行い、個別支援計画の特記事項に記載をしています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」綱島校

保護者等数（児童数）：20名 回収数：20枚 割合100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	4	1	0	個別である故に同じ時間帯に他の利用者さんを入れずに、広いスペースと数人の先生で指導してくださっているのが本当にありがたいと思っています。	状況や人数に合わせ、活動スペースを確保しています。ただ、活動内容によっては、決して広くはなく、利用の調整を実施対応しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	1	0	1		法令で必要とされている配置数に加え、指導員または保育士を1名以上(常勤換算)配置をしています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	4	0	0		教室内の生活空間においては、バリアフリー・クッション材を使用し安全面への配慮を行っています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17	2	1	0	たまに他の子が気に合っただけで集中が出来ない様子	毎日の清掃・消毒と汚れたらその都度清掃・換気等の実施・継続していきます。お子さまの特性に合わせた空間の利用をしています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	17	3	0	0	こどもが話さないため不明	児童に合わせてカスタマイズした支援計画の作成を行っています。よりよい計画書づくりが出来よう様研修等への参加やお子さま・保護者様のニーズを形にしていいため、より一層の努力を致します。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	4	0	3		児童の個別支援計画をご説明させて頂く際に、より分かりやすく支援に必要な項目の選択・支援内容の設定を説明できるよう、一層の努力を致します。また、ご理解頂けるよう丁寧な対応を心がけます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	2	0	1	専門性のある先生方のアセスメントにより本人が取り組みやすい計画を立てて頂き、本人も過ごしやすい様子です。	支援計画に添い、支援を実施しながら、変更があった場合は、見直し期間に関わらず、随時変更し、了承頂いた上で支援を実施しています。ご利用の頻度に関わらず、ご理解が得られるよう、説

							明や支援後のフィードバックを丁寧に実施しています。	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14	3	1	2	児童に合わせてプログラムの工夫をしております。ご意見を伺いながら丁寧にプログラム設定を心がけます。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	4	5	3	保育所には通っており、個別療育を希望している。わかりません。交流が難しいため、現在の交流は必要性を感じていません。	個別療育が基本の為、児童同士の交流の機会はないが、幼稚園・保育園との連携は保護者様のご要望に合わせて実施し、集団の中でのお子さまの様子を支援計画に反映しています。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	0	0	0		面談時や契約更新時に丁寧な説明を心掛けています。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	18	1	0	1		契約時、または支援計画更新時に合わせ、計画書を用い、説明を実施しております。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	11	5	3	1	希望していない。	小集団支援の中で親子参加型のプログラムを実施、毎回の支援後のフィードバックにてペアレントトレーニングとしてのアドバイスを行っています。また、定期的な面談や事業所内相談のご提案をさせて頂き、家族支援を実施しています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19	0	0	1		支援のフィードバック時間や見守りの時間を友好に使い、ご家庭での状況確認や課題や取り組みについて共通理解をもてる様連携を強化していきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	3	1	0	希望していない。	定期的にお声掛けしながら面談や相談を実施していきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	4	0	5	参加していません。参加していないので、不明。	保護者同士の関りについてアンケートを基にママカフェの実施。他校舎との連携での実施を年に2回。校舎独自での実施を1回開催しています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17	1	0	2	話やすく、相談もしやすい。アドバイス・回答も親身になってくれるためありがたい。心配な事があるときはいつでもお話を聞いてくださり、支えて頂いています。	ご要望やご相談には、可能な限り、丁寧に迅速に対応をさせて頂いております。また、温かいご意見に感謝いたします。ご要望に添い、対応が出来る様さらに努力をしていきます。

	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	0	0	1	日常の変化が多いので、始まる前に情報交換できるともっと良いと思いました。	支援後のフィードバックの時間を利用して情報伝達を行っています。また、児童や保護者様に合わせ、メールや連絡帳を利用し、より良い方法をご提案して参ります。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	17	1	0	2		毎月、つなしま通信の発行と事業所ブログでの支援の内容や活動内容の報告を実施しています。児童や保護者へ伝わる発信の工夫をして、引き続き取り組んで参ります。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	17	1	0	2	制作物の写真も載せて良いか聞いてくださるので、ありがとうございます。	わからないところのご回答もあり、個人情報の取り扱いに関して、取り組んでいる事を開示し、ご安心頂けるよう、取り組んで参ります。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	11	2	0	7	マニュアルは知っているが、訓練については参加したことがないのでわからない。まだ参加していません。	マニュアルを基に実施している訓練等、参加時期等により、ご参加いただけていない方も居たかもしれません。実施については、ブログや通信にて周知を行っています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	2	0	7	同上。	月1回の避難訓練の実施をしています。また、情報共有など発信を定期的に行っていますが、わからないところのご回答も多いことから伝わる発信となるよう、工夫をし発信をすることで、安心してご利用して頂けるよう、取り組んで参ります。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	18	2	0	0	とても楽しみにしています。行く前は「わーい楽しみ！」と言っています。通所前に「たのしみ～」後は「たのしかった」と言っています。	目的意識や楽しみをもって支援を受けて頂けるよう、努力し引き続き取り組んで参ります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	15	4	0	1	細かく教えて頂けてとてもありがとうございます。準備・後処理含め、手厚い支援をして頂いています。いつも感謝の気持ちでおります。子供にとって居心地が良い場所となっているので、満足しています。	児童・保護者も含めご満足いただける様、今後とも丁寧な支援やフォローを実施して参ります。わからないところのご回答をご満足のいくご利用とかえしているよう、努力して参ります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。